

令和2年度
事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

社会福祉法人 高山市社会福祉協議会

目 次

●地域福祉の推進を目的とする事業

1.社会福祉を目的とする事業の企画及び実施	1
2.社会福祉に関する活動への住民参加のための援助	1
3.社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、連絡、調整及び助成	1
4.保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業	2
5.生活支援体制整備事業	2
6.共同募金事業への協力	3
7.ボランティア活動の推進	4
8.児童福祉法に基づく障がい児通所支援事業	5
9.児童センター・児童館運営事業	7
10.介護予防運動指導事業	9
11.外出支援事業	9
12.福祉サービス利用援助事業	10
13.生活福祉資金貸付事業	11
14.心配ごと相談事業	11
15.リフトバス運行事業	12
16.その他法人の目的達成のために必要な事業	12
17.財政基盤の確立	13
18.空き店舗活用事業	14
19.福祉大会事業	14
20.高齢者健康増進スポーツ施設運営事業	14
21.支所地域・支部の主な活動	15

●公益を目的とする事業

1.総合福祉センター事業	20
2.ふれあい会館事業	21
3.荘川福祉センター事業	22
4.国府福祉センター事業	22
5.福祉サービス総合相談支援センター事業	22
6.夜間保育	24

※本文中、「今年度」は令和2年度、「前年度」は令和元年度（平成31年度）を表す。

※「新型コロナウイルス感染症」については、編集の都合上、「新型コロナ」「コロナウイルス」あるいは単に「コロナ」と表記している。

令和2年度 社会福祉法人 高山市社会福祉協議会事業報告

はじめに

今年度は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から、利用者をはじめ市民全体の安全を最優先し、事業の実施にあたっては、縮小や中止も含め柔軟かつ的確に対応した。初めて体験する状況の中、本会は多くの皆様に支えられて様々な事業を推進しているということを改めて実感した次第である。このような状況だからこそ、あらゆる時代で大切にされてきた「絆」を常に認識しながら事業を推進し、多くの方々との協働の重要性を再確認することができた。

福祉事業、相談業務等の各事業については、新型コロナウイルスの感染状況を注視し、「地域の住民が互いに支え合い、住み慣れた地域で安心して生活できる、住民主体の地域づくり」という本会の基本理念に基づき推進した。

●地域福祉の推進を目的とする事業（定款第2条）

1. 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

ボランティアによる配食サービス支援、各種福祉研修会、空き店舗活用事業、民生児童委員協議会事務局、地域見守り推進員連絡会事務局、福祉関係団体等連絡協議会事務局の運営、自主活動連絡会事務局の運営、外出支援事業、長寿会事務局、その他、福祉関係団体支援などの事業を企画・実施した。

2. 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助

福祉推進のため、住民自身が地域の福祉課題を共有し、その解決を自らが考え取り組むことに重点を置きながら、住民主体の地域づくりを意識して、住民や関係団体との協働により各種事業を実施した。

(1) 地域見守り推進員の委嘱状交付式及び研修会の開催

全21地区で年間2~3回の定例会を開催した。うち1回は、民生児童委員との合同研修会を実施した。

(2) 地域見守り推進員連絡会会長会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 地域見守り推進員活動の推進

民生児童委員との連携を基本に、見守りについて情報交換を行いながら活動し、定期訪問活動報告書の提出を依頼して、対象者の把握及び支援を実施した。また、見守り推進員に対し、活動支援交付金を支出した。

3. 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、連絡、調整及び助成

(1) 広報活動

社協だより「福祉のまち」を年6回各世帯に配布したほか、ホームページに掲載し幅広く周知を図った。また、コミュニティFMを活用し、毎週火曜日午前9時30分より10分間の番組を放送した。

その他、支部だより、児童センターだより、よって館だよりを発行したほか、年間を通して福祉サービス総合相談支援センターなどの情報発信に努めた。

(2) 福祉活動費の助成

福祉活動団体が行う地域福祉活動の事業費の一部を助成した。(11団体)

団体名	金額
民生児童委員協議会	1,362,000円
高山身体障害者福祉協会	320,000円
高山市母子寡婦福祉会	230,000円
高山市町内会連絡協議会	180,000円
高山市手をつなぐ親の会	90,000円
飛騨地区病弱児を守る会	50,000円
高山地区更生保護女性会	30,000円
岐阜県視覚障害者協会高山支部	30,000円
青葉の会	30,000円
高山聴覚障害者福祉協会	30,000円
高山保護区保護司会	30,000円
合計	2,382,000円

4. 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業

(1) 福祉協力校への支援

	令和2年度		令和元年度	
小学生対象	55件	2,324人	39件	2,300人
中学生対象	15件	440人	20件	767人
高校生対象	0件	0人	4件	30人
合計	70件	2,764人	63件	3,097人

市内19小学校、12中学校、2高等学校(計33校)に対し、各学校の特色にあわせて行った福祉関連事業の助成金として、各校50,000円(計1,650,000円)を支援した。

(2) 福祉体験出前講座の実施

身近なところで福祉に関わる活動のきっかけづくりのため、各地域へ出向き、出前形式の講座を実施した。

5. 生活支援体制整備事業

第1層生活支援コーディネーターとしての活動

(1) ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築

地域の良いところや困りごとを発見し、様々な事業主体と解決に向けて取り組んだ。

<実績>

- ・資源把握や情報共有、課題把握のための「地域カルテ」の整備 → R2年度～継続
- ・地域ごとの協議体(ネットワーク構築会議)を北、清見、一之宮の各地区でモデル的に実施
北:「サロン活動」 清見:「配食サービス」 一之宮:「拠点整備」
- ・社会参加の場、及び医療・福祉関係機関の困りごとを解決するため、「みんなボラ! プロジェクト」のアンケート調査 → R2年度～継続

(2) 地域資源・サービスの開発

地域で必要と思われる資源づくりに取り組んだ。

<実績>

- ・一之宮地区での「わいわいルーム」の整備 → H30年度～継続
- ・大八地区でのまちづくり協議会の拠点整備支援 → H30年度～継続
- ・引きこもり当事者とその家族の相談の場「ツナガル café」運営補助 → H31年度～継続
- ・南地区での「わんわんち」拠点整備支援 → R2年度～継続
- ・清見地区での町内会を中心とした拠点整備支援 → R2年度～継続
- ・清見地区での小学生を中心とした配食サービス → R2年度～継続

(3) サービス実施情報の周知

地域で実施されている活動や暮らしに役立つ情報を発信した。

<実績>

- ・「福祉のまち」やホームページ、ヒットネットTV等で地域の拠点(集いの場)の情報提供
- ・北地区まちづくり協議会の福祉部会活動「自主活動サロン」運営情報冊子の作成支援

6. 共同募金事業への協力

募金実績		目標額	実績額
赤い羽根共同募金	令和2年度	18,000,000円	17,536,379円
	令和元年度	18,000,000円	18,999,818円
歳末たすけあい募金	令和2年度	9,000,000円	3,412,000円
	令和元年度	9,000,000円	3,945,000円
合計	令和2年度	27,000,000円	20,948,379円
	令和元年度	27,000,000円	22,944,818円

歳末たすけあい配分実績

在宅配分	令和2年度	115世帯	2,775,000円
	令和元年度	119世帯	2,845,000円
地域福祉推進事業配分	令和2年度	13事業	637,000円
	令和元年度	16事業	1,100,000円
令和2年度合計			3,412,000円
令和元年度合計			3,945,000円

歳末たすけあい地域福祉推進事業配分内訳（13 団体）

団体名	事業名	配分事業費
わか菜会	ふれあいのつどいクリスマス会	30,000 円
久々野ボランティア連絡会	久々野ボランティア連絡会配食サービス	50,000 円
高根町給食ボランティアの会	高根町等ふれあい交流事業	30,000 円
高山市民生児童委員協議会	年賀状配付事業	80,000 円
青葉の会	青空作業所との交流	30,000 円
高山コスモス作業所保護者会	保護者会主催新年会	50,000 円
高山病弱児を守る会「あかりんぐ」	クリスマス会（クリスマスリース作り）	40,000 円
リハビリ友の会	リハビリ友の会	15,000 円
山ゆり学園保護者会	新年を祝う会	50,000 円
児童養護施設「夕陽ヶ丘」	寝具等配付事業	100,000 円
高山市母子寡婦福祉会	正月寄せ植え講座	100,000 円
乳幼児学級ピッコロハウス	親子クリスマス会	12,000 円
22会	サロン及び高齢者等へのばあちゃん弁当	50,000 円
合 計		637,000 円

7. ボランティア活動の推進

市民が積極的にボランティア活動に参加できるような養成研修事業・出前講座の開催とボランティア活動の活性化に向けた情報提供や福祉教育の推進、ボランティア団体への活動支援等の事業、ボランティアセンター登録団体の情報更新を実施した。

- ・ボランティアセンター登録団体冊子作成 通年
- ・ボランティアセンター運営委員会の設置及び開催 2 回
- ・ボランティア団体等助成事業説明会 15 回(コロナにより個別にて実施)
- ・福祉協力校ネットワーク会議 1 回(17 校参加、オンライン実施)
- ・各種サロン／ボランティアリーダー研修会 5 回
- ・高山市ボランティア・市民活動フォーラム 中止(福祉フェスティバル中止のため)
- ・岐阜県ボランティアセンター実践検討会議 中止(コロナウイルス感染拡大防止のため)
- ・高山市防災訓練 1 回
- ・ボランティア活動保険への加入 2,415 名(昨年度 2,468 名)
- ・ボランティア活動周知(広報誌等) 3 回
- ・ボランティア運営支援 通年
- ・ボランティア相談 延べ 82 件
- ・ボランティア活動紹介 延べ 37 件
- ・まち協サロンへの活動支援 1 回
- ・ケア21への囲碁ボランティア派遣(囲碁クラブ) 毎月第 2・第 4 月曜日
- ・ケア21への音楽ボランティア派遣(トウインクル) 隔月
- ・在宅の方への出張理容ボランティア派遣(はさみの会) 3 回
- ・コロナ禍における緊急的な見守り活動の支援(菜の花会) 2 回
- ・その他、各団体への会員登録支援
- ・「幸せの黄色い花プロジェクト 2021」の開催
- ・コロナ禍でのボランティア活動「みんボラ!プロジェクト」アンケート調査

- ・令和2年7月豪雨災害における「災害ボランティアセンター」の設置と運営
 期間:令和2年7月10日～8月2日(24日間)
 派遣依頼:延べ30件(滝町、久々野地域、朝日地域)
 団体数:延べ30団体 人数:延べ799人

ボランティア活動への事業費助成(13団体)

団体名	金額
菜の花会	700,000円
つくしの会	250,000円
手話サークルたつの会	50,000円
語り部ねっと飛騨高山朗読会	50,000円
はさみの会	44,300円
笑美の会	25,000円
シルバーボランティア虹の会	25,000円
手話サークルさるぼぼ	15,000円
虹の会(国府)	30,000円
和の会	10,000円
ベルマークの会	10,000円
こだまの会ボランティアの会	30,000円
JA助け合い組織「山びこの会」高山支部	5,000円
合計	1,244,300円

8. 児童福祉法に基づく障がい児通所支援事業

(1) あゆみ学園

<児童発達支援事業>

小集団での療育(丁寧な関わり)の中で、感覚運動遊びを通じたボディイメージの獲得をめざすことにより、集中力の持続や感情のコントロール・学習していくための力を育て、就学につなげることができた。

<放課後等デイサービス事業>

小学1年生以上の児童を対象に、身体を思いきり動かす運動遊びや、書道・パン作り・ダンス・陶芸などに親子で参加し、それぞれの活動を通して、社会的スキルを学びながら楽しく過ごすことにより、好きなことを見つけるきっかけづくりや自己肯定感につなげることができた。

利用実績

令和2年度開館日数 243日 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	344	176	670	502	534	548	2,774
令和元年度	589	541	608	674	544	529	3,485
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	590	562	574	562	540	646	3,474
令和元年度	482	605	563	606	615	786	3,657

総利用人数

令和2年度	6,248
令和元年度	7,142

(2) すきっぷ広場

2歳児相談後、発達の遅れが心配される保育園を利用していない子どもが対象。

1クラス10名で、週1回2時間の遊びを通し、体を動かすことを中心にプログラムに沿って活動した。保護者には、子どもの関わり方を理解し、子どもと楽しく関わるができる姿を目指して取り組んだ。また、保育園・幼稚園就園に向けた「ぽっぽ広場」を児童センターと共に行った。

利用実績 令和2年度開館日数 72日

	令和2年度	令和元年度
利用人数	984人	1,312人

(3) 第二あゆみ学園

発達が気になると思われる0歳から4歳程度までの療育を必要とする子どもが対象。

2名から5名程度の小集団の活動で、グループの特徴や個人の目標などを意識し、プログラムに沿って療育を実施しながら、主に親子で体を使って楽しく遊ぶことで、愛着と安定した親子関係を作った。

学校終了後や夏休み等に、子どもを支援する放課後等デイサービスを同時に運営した。また、保育所等訪問支援事業も随時行った。

利用実績 令和2年度開館日数 243日 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	215	231	545	466	455	458	2,370
令和元年度	552	527	594	600	540	588	3,401
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	492	445	473	431	483	607	2,931
令和元年度	686	663	623	642	603	503	3,720

総利用人数

令和2年度	5,301
令和元年度	7,121

(4) 計画相談支援事業(計画相談支援、障害児相談支援)

相談支援事業所 フレンズ利用状況

NPO 法人ふくしの郷で行っていた計画相談支援事業を令和2年度から高山市社会福祉協議会が引き継いだ。本事業は、包括的総合相談体制を構築する上でも重要である。

なお、利用者が安心して利用できるよう、事業所名はそのままとした。

相談実績 (単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	33	32	43	28	28	42	206
令和元年度	41	47	64	44	49	65	310
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	45	48	61	41	41	67	303
令和元年度	47	48	58	44	47	64	308

総相談件数

令和2年度	509
令和元年度	618

*令和元年度の数値は、ふくしの郷フレンズ

9. 児童センター・児童館運営事業

(1) 昭和児童センター

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策による活動制限はあったものの、4月～5月の児童館5館の取り組みとして『休校中のあそびキット』を作成し配布した。また、来館や行事参加に定員を設ける等の配慮をしながら行事を実施した。

前年度実施して好評だった「ぽっぽ広場」を今年度も実施した。翌年度就園する幼児親子を対象に、入園に対する不安・悩みの解消や情報交換、親子交流が目的であり、子どもの成長を感じ入園への期待感が持てたとの声が聞けた。「ハロウィン遊び」では、地域の住民や店舗等の協力を得て交流し、児童センターの役割や存在意義を知ってもらう機会となった。

また、「季節の製作遊び」を少人数で実施し、親子の交流や母親の育児ストレスを緩和する場として利用された。

利用実績

令和2年度開館日数 248日（単位:人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	91	0	531	1,401	1,229	1,625	4,877
令和元年度	2,401	1,919	2,707	2,435	2,877	2,180	14,519
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	1,732	1,491	1,262	885	804	1,813	7,987
令和元年度	2,249	2,415	2,251	2,095	2,041	446	11,497

総利用人数

令和2年度	12,864
令和元年度	26,016

(2) 山王児童センター

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策による活動制限はあったものの、4月～5月の児童館5館の取り組みとして『休校中の遊びキット』を作成し配布した。また、来館や行事参加に定員を設ける等の配慮をしながら行事を実施した。

子育て中の母親の育児ストレスの緩和や、日頃の悩み等を話せる場を設け、母親同士の交流を図った。小学生が遊びや製作、季節の行事等のさまざまな体験を通して異年齢との交流を深めることができた。

また、日頃から職員とのコミュニケーションを取り、児童が安心して過ごせる雰囲気づくりに努めた。卓球や縄跳び等の運動遊びを通して小中学生の体力増進を図った。中高生が地域でボランティア活動できる場を設け、地域の幼児親子や小学生、保育園児との交流を図ることができた。

利用実績

令和2年度開館日数 248日（単位:人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	49	0	195	384	475	516	1,619
令和元年度	1,273	933	1,497	1,490	1,481	1,203	7,877
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	572	523	403	241	242	570	2,551
令和元年度	1,101	1,184	966	1,055	858	122	5,286

総利用人数

令和2年度	4,170
令和元年度	13,163

(3) 城山児童センター

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策による活動制限はあったものの、4月～5月の児童館5館の取り組みとして『休校中のあそびキット』を作成し配布した。また、来館や行事参加に定員を設ける等の配慮をしながら行事を実施した。

五感を使った遊びや「お母さん講座」で親子の交流を深め、母親のリフレッシュと母親同士の関係づくりを図った。また、今年度、小学生地域活動クラブを発足し、ボランティア活動や地域散策など様々な体験を通して、自主性を学ぶ機会となった。

予定していた空町まちづくり協議会との協働事業は行うことができなかったが、地域の方が講師となり、折り紙や押し花などの遊びを教えてもらうことで多世代交流ができた。

利用実績

令和2年度開館日数 248日 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	29	0	125	319	404	509	1,386
令和元年度	1,202	1,135	1,390	1,316	1,229	1,191	7,463
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	601	497	458	245	242	507	2,550
令和元年度	1,019	1,038	1,232	989	952	137	5,367

総利用人数

令和2年度	3,936
令和元年度	12,830

(4) 国府児童館

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策による活動制限はあったものの、4月～5月の児童館5館の取り組みとして『休校中のあそびキット』を作成し配布した。また、来館や行事参加に定員を設ける等の配慮をしながら行事を実施した。

子育て中の母親のみならず、父親や祖父母も気軽に来館しやすい雰囲気づくりに努め、「ハロウィンあそび」「クリスマス会」など、季節の行事に家族で参加される方も多かった。地域の乳幼児学級「ピッコロハウス」と協働で子育て相談会を実施し、日頃の育児の悩みを話せる場を設けた。

また、ボランティア講師による「ヨガ講座」「子育てサロン」「読み聞かせの会」などを実施し、地域の方の協力を得ながら多世代に親しまれる児童館運営ができた。

利用実績

令和2年度開館日数 249日 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	58	0	473	995	1,005	1,146	3,677
令和元年度	1,148	831	1,366	1,380	1,521	1,202	7,448
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	1,412	1,231	977	660	588	1,032	5,900
令和元年度	1,148	1,070	1,279	1,280	1,155	429	6,361

総利用人数

令和2年度	9,577
令和元年度	13,809

10. 介護予防運動指導事業

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の中止や自主活動の自粛が相次ぐ中、高齢の皆さんが少しでも自宅で体を動かす機会が得られるよう、ヒッツFMで体操の音源を放送したほか、ヒットネットTVの厚意で「タオル体操」の動画を制作・放送していただいた。

事業が開始できたのは6月であったが、感染防止対策が行われている公共施設等で健康教室を順次再開した。長期にわたる自粛生活を強いられた高齢者にとっては、健康を維持することの重要性を再認識する一年となった。

介護予防事業実績

(単位:日、人)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
高齢者健康教室 (説明会1回含)	0	0	0	0	12	125	28	241	26	248	22	163
自主活動支援	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0
自主活動 フォローアップ講座	0	0	0	0	6	54	27	163	12	70	22	114
認知症予防講座	0	0	0	0	7	60	7	36	9	42	11	54
認知症予防教室	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	1	12
合計	0	0	0	0	27	244	62	440	48	364	56	343

	10月		11月		12月		1月		2月		3月		
	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	
高齢者健康教室 (説明会1回含)	33	200	30	195	37	254	19	130	16	99	25	195	
自主活動支援	0	0	6	53	1	3	1	1	1	4	0	0	
自主活動 フォローアップ講座	19	119	11	70	14	102	3	23	4	28	12	63	
認知症予防講座	16	67	12	51	9	36	1	1	0	0	0	0	
認知症予防教室	2	23	3	28	0	0	3	20	4	36	3	29	
合計	70	409	62	397	61	395	27	175	25	167	40	287	
											令和2年度利用人数		3,221
											令和元年度利用人数		4,871

11. 外出支援事業

支所地域の住民を対象に、通院、反復日常的な買い物に関する外出支援サービスを行った。

利用実績(地域別)

(単位:回)

	丹生川	清見	荘川	一之宮	久々野	朝日	高根	国府	上宝	合計
令和2年度	460	231	296	598	991	497	533	926	842	5,374
令和元年度	723	222	212	657	904	482	627	1,040	927	5,794

12. 福祉サービス利用援助事業

岐阜県社会福祉協議会から委託を受け、更なる需要に対応するために、認知症高齢者・知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な方を対象とした事業である。適正なサービスの提供、身の回りのことや金銭管理などの支援を重ね、実績数を増やし誠意を持って対応した。

(1) 日常生活自立支援事業(受託事業)

実契約件数 (単位:件)

年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
令和2年度	42	24	40	8	114
令和元年度	43	22	36	8	109

援助件数(延べ件数) (単位:件)

年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
令和2年度	1,665	865	2,545	360	5,435
令和元年度	1,654	1,141	2,506	253	5,554

関係機関との連絡調整及び広報活動、周知活動などを継続して行った。また、パンフレットを作成し、民生児童委員・地域見守り推進員等の会議ほか、介護事業者・地域ケア会議での情報提供を随時実施した。

(2) 法人後見事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等、判断能力が不十分なために意思決定が困難な方々の判断能力を補うため、社会福祉協議会が成年後見人となることにより、本人の財産管理、身上監護を行い、高齢者、障がい者の方々が安心して日常生活を送ることができるように支援を行った。

支援件数(延べ件数) (単位:件)

年度	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
令和2年度	272	289	42	603
令和元年度	283	216	122	621

① 運営審査委員会

開催日 令和2年8月17日

委員会構成メンバー 弁護士、司法書士、福祉事務所長、県社協部長、社会福祉士会、福祉施設代表、高山社協常務理事(計7名)

② 後見等受任件数及び支援経路

・認知症 11件(親族申立7件、市長申立4件)
 ・知的障がい 4件(親族申立1件、本人申立3件)
 ・精神障がい 4件(親族申立3件、市長申立1件)
 ・その他 2件(市長申立2件) 合計 21件

③ 広報・普及宣伝

ア) 広報活動(制度・相談窓口・講演会等案内)

・社協だより「福祉のまち」 3回掲載
 ・ヒッツFM 3回放送
 ・パンフレット「成年後見制度の利用をお考えの方に」 随時配布

イ) 普及活動

・講演会、出前講座 2回実施 19名参加

④ 高齢者等成年後見制度利用支援事業申請状況

被後見人の財産状況により後見人への後見報酬の支払いが困難なケースにおいて、報酬の全額または一部の助成を求めるため、市町村に対して申請を行った。

申請実績

令和2年度	令和元年度
4件	4件

13. 生活福祉資金貸付事業

相談者との面談の際、ひとり親家庭に対しては母子寡婦福祉法による貸付を紹介したほか、他施策の活用により解決できる場合には、該当する関係機関への橋渡し等を行うなど、安易に多額の借入金を負わせることなく、相談者の自立支援を優先した課題解決を心がけた。

生活福祉資金貸付状況

項目	相談件数	貸付件数	貸付金額
総合支援資金	3件	1件	462,000円
福祉費(療養費、車購入など)	18件	1件	180,000円
教育支援資金	49件	5件	1,850,000円
緊急小口資金	111件	29件	2,207,000円
計	181件	36件	4,699,000円

コロナ禍の中で生計の維持に苦慮されている世帯に対して、県社協と連携し、コロナ特例小口資金、総合支援資金貸付相談に応じた。

生活福祉資金貸付状況

項目	相談件数	貸付件数	貸付金額
コロナ特例小口資金	1,283件	518件	91,907,000円
コロナ特例総合支援資金		100件	40,252,000円
計	1,283件	618件	132,159,000円

14. 心配ごと相談事業

年間相談日は84日で、延べ127名の方から相談を受けた。面談にあたっては、相談内容に丁寧に耳を傾け、心配の度合いを下げ、解決に結びつけられるよう努めた。

相談内容は、家族についての案件が多く、年金や生計に関することが多くを占めた。主に行政(福祉課)や社協等への関係機関につなぐケースが多かった。

15. リフトバス運行事業

障がい(児)者、高齢者等が各種行事や研修会等に参加する際の移動手段として、社会参加の促進と自立の支援を図るため、車イス専用リフトバス「あおぞら号」を運行した。

運行実績

年 度	件 数	利用人数
令和2年度	15 件	134 人
令和元年度	87 件	1,268 人

16. その他法人の目的達成のために必要な事業

社会福祉事業を着実に実施・運営するため、法令、定款、諸規程に基づき、理事会、評議員会、監事会を開催した。(感染症拡大防止のため、理事会、評議員会は書面決議とした)

(1) 理事会の開催

○第1回理事会 (令和2年6月8日 書面決議)

審議事項

- 第1号議案 平成31年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会社会事業報告の承認について
- 第2号議案 平成31年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会決算の承認について
- 第3号議案 令和2年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第1号)及び公益事業区分補正予算(第1号)について
- 第4号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会第1回評議員会開催について

○第2回理事会 (令和3年3月22日 書面決議)

審議事項

- 第1号議案 令和2年度専決処分(第1号)の承認について
- 第2号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
- 第3号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会給与規程の一部改正について
- 第4号議案 社会福祉法人高山市社会福祉協議会第二あゆみ学園運営規程全部改正及び第三あゆみ学園運営規程の廃止について
- 第5号議案 令和2年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第2号)及び公益事業区分補正予算(第2号)について
- 第6号議案 令和3年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会事業計画について
- 第7号議案 令和3年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会予算について

(2) 評議員会の開催

○第1回評議員会 (令和2年6月22日 書面決議)

審議事項

- 第1号議案 平成31年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会事業報告の承認について
- 第2号議案 平成31年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会決算の承認について
- 第3号議案 令和2年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第1号)及び公益事業区分補正予算(第1号)について

○第2回評議員会（令和3年3月29日 書面決議）

審議事項

第1号議案 令和2年度専決処分（第1号）の承認について

第2号議案 令和2年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第2号）及び公益事業区分補正予算（第2号）について

第3号議案 令和3年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会事業計画について

第4号議案 令和3年度社会福祉法人高山市社会福祉協議会予算について

(3) 監事会の開催（監査）

実施日・場所 令和2年5月25日 総合福祉センター

監査内容 平成31年度事業報告について

平成31年度決算報告について

(4) その他

資産変更登記 令和2年6月23日 平成31年度決算確定による変更登記

17. 財政基盤の確立

運営体制の確立と事業の拡充を図るためには、安定した財源の確保が必要であり、自主財源である会費が最も重要である。今年度も引き続き、町内会の協力を得て、正会員の加入促進と特別会員、特別賛助会員、法人会員、団体会員の協力について幅広く依頼をした。

事業の実施にあたっては、限られた予算で最大限の効果が得られるよう、多世代の方々に対してサービスが提供できるよう努めた。

会員加入状況

住 民 会 員	令和2年度	19,517 口	20,790,500 円
	令和元年度	20,987 口	21,185,000 円
法 人 会 員	令和2年度	304 事業所	3,317,000 円
	令和元年度	332 事業所	3,559,000 円
団 体 会 員	令和2年度	19 団体	278,000 円
	令和元年度	22 団体	316,000 円
合 計	令和2年度		24,385,500 円
	令和元年度		25,060,000 円

寄附状況

種 別	令和2年度	令和元年度
件 数	52 件	62 件
金 額	7,557,427 円	3,973,210 円

18. 空き店舗活用事業

空き店舗を活用した地域の拠点づくりとして3か所で展開した。高齢者の健康体操グループやサロン活動、多世代交流など各館の特性を活かし、地域に根差した施設運営に努めた。

よって館「宙」 利用実績

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
利用人数	37	51	237	195	184	225	929
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
利用人数	283	256	210	142	203	279	1,373

よって館「初田」 利用実績

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
利用人数	50	29	200	217	164	231	891
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
利用人数	267	232	228	196	213	234	1,370

よって館「花里」 利用実績

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
利用人数	100	30	262	279	269	280	1,220
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
利用人数	341	331	291	243	266	371	1,843

総利用人数

令和2年度	7,626
令和元年度	11,687

19. 福祉大会事業

第45回高山市社会福祉大会(表彰)

開催日 令和2年10月31日(土)

内容 社会福祉協議会長表彰 68名

感謝状贈呈 3団体

※基調講演は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

20. 高齢者健康増進スポーツ施設運営事業(飛騨高山グラウンド・ゴルフ倶楽部)

利用状況 (12月~3月は休業)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
令和2年度	193	77	475	445	424	619	726	694	3,653
令和元年度	808	1,109	921	875	550	824	779	1,003	6,869

21. 支所地域・支部の主な活動

(1) 丹生川支部

啓発事業

- ・町内ミニコミ紙「はちがまち」記事掲載(年12回)
- ・その他、地域情報紙(ほのぼの通信・まち協だより)への記事掲載(随時)

児童生徒支援事業

- ・中学1・2年生総合学習支援(福祉学習・高齢者交流等 延べ5回開催 約215名参加)
- ・小学生総合学習支援(出前講座等 7回開催 224名参加)
- ・中学生対象サマーショートボランティア(6名参加)

高齢者支援事業

- ・配食サービス事業(毎週月・木 年間100日 延べ413食)
- ・コミュニケーション麻雀サロン ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止
- ・ふれあいいきいきサロン支援事業(助成事業、出前他) 約30サロン
- ・自主活動グループ支援(リハビリ友の会 読み物の配布など3回実施)
※感染症予防のため対面開催は行わず(令和2年度末にて解散)
- ・介護予防サロン「なかよし健康クラブ」の企画運営(月1回延べ58名参加)
- ・サロンリーダー研修会 ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止

子育て支援事業

- ・子育てサロン「乳幼児親子の集いわくわくサロン」の実施
(月1回 延べ62組127名参加)及びメール配信事業
- ・友愛こどもクラブ(長期休暇留守家庭教室事業):夏休み9日開設 延べ5名利用
冬休み3日開設 延べ2名利用

障がい者支援事業

- ・障がい者デイケア事業(リハビリ友の会と合同開催 読み物など3回配布)
※新型コロナウイルス感染症予防のため対面開催は行わず(令和2年度末にて解散)
- ・障がい者と家族の日帰り研修事業(手をつなぐ親の会、身障協会)
※新型コロナウイルス感染症予防のため中止

他団体支援及び協力

- ・八十路を語る会(敬老会)実行委員会支援 ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止
- ・丹生川地区自主活動団体「ふるさと福祉村」事務局及び各種事業の展開
- ・障がい者生きがい支援(手をつなぐ親の会、身障協会)
- ・地域ケア会議(地域づくり交流会)への参画
- ・丹生川区長寿会事務局
- ・丹生川診療所研修医及び名古屋大学医大生への地域福祉事業研修
※新型コロナウイルス感染症予防のため中止
- ・丹生川まちづくり協議会との連携

(2) 清見支部

啓発事業

- ・清見支部だよりの発行(年5回)

児童生徒支援事業

- ・小、中学生を対象とした福祉出前講座の実施
- ・清見小4年生の自主活動サロンへの壁新聞配布の支援
- ・清見小4年生のヒッツFM 出演調整と支援
- ・清見中学1・2年生の震災防災講話の調整

高齢者支援事業・拠点づくり支援

- ・ふれあいいきいきサロン支援事業(大原・毎週火曜日 40 回開催 延べ 150 名参加)
- ・高齢者つどいの広場(毎週金曜日 36 回開催 延べ 202 名参加)
- ・自主活動サロンの支援
- ・拠点づくり(結の会)

子育て支援事業

- ・乳幼児学級「わくわく教室」の支援(11 回開催 延べ 286 名参加)

多職種連携(他団体支援)

- ・WONDERFUL KIYOMI ほかほか事業
(小学校、観光協会、長寿会、JA ひだ、JA ひだ助けあい組織「やまびこの会」、支所)
- ・清見地域子育て支援検討会への参画
(保育園、小学校、中学校、支所、まちづくり協議会)
- ・地域ケア会議への参画
- ・清見区長寿会事務局
- ・清見まちづくり協議会
- ・ひだ清見観光協会
- ・JA ひだ助けあい組織「山びこの会」清見支部

(3) 荘川支部

高齢者支援事業

- ・高齢者対象「おたっしや倶楽部」の開催(5 月末より再開 延べ 312 名)
- ・自主活動サロン支援・出前講座
- ・荘川サロン交流会の開催(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)
- ・荘川地区地域福祉サミットの開催(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)
- ・配食サービス事業(年 5 回 86 食)
- ・福連協高年者部会「市民公開講座」の開催(78 名参加)
- ・認知症予防教室の開催(2 回講座 延べ 21 名)

啓発事業

- ・支部だより「ふれ愛メールしようかわ」の発行(年 6 回)
- ・高齢者通信「おたっしや通信」の発行

児童生徒支援事業

- ・小学生児童と自主活動サロンとの交流(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)
- ・中学生生徒の手作りマスクを施設利用者へ贈呈(荘川デイサービス利用者)
- ・どんぐり広場の高齢者交流事業(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)
- ・やまびこの会荘川小中学校牛井弁当支援協力(約 100 食)

子育て支援事業

- ・子育て広場「どんぐり広場」の支援(毎週木曜日 延べ 273 名参加)
- ・サンタクロース隊の実施(12 月 24 日)

冬季交流事業

- ・コミュニケーション麻雀交流大会(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)

他団体支援

- ・荘川地区敬老会中止に伴う代替えマスク配布事業協力(対象 400 名)
- ・荘川町まちづくり協議会ふくし部会参画及び協力
- ・荘川区長寿会事務局・各ボランティア団体支援

(4) 一之宮支部

啓発事業

- ・支部だより「ゆめざくら」の発行(年6回)
- ・高齢者通信「さくら新聞」の発行(毎月1回)

児童生徒支援事業

- ・小学4年生を対象とした福祉出前講座の実施(年7回開催 延べ161名参加)
- ・小学生対象「夏野菜クッキング」開催(夏休み中2回開催 延べ19名参加)
- ・赤い羽根共同募金活動に参加(校内募金の実施)

高齢者支援事業

- ・高齢者の集い「コスモス会」(1回 延べ4名参加)
- ・サロンリーダー会議の実施(年2回)
- ・配食サービスの実施(毎週木曜日に10件)
- ・コミュニケーション麻雀サロンの実施(月2回)
- ・地域の高齢者と乳幼児親子交流花餅作り
- ・地域見守り推進員連絡会(3回)

子育て支援事業

- ・子育て支援事業「ネバーランド」(月3回)

人材育成事業

- ・ボランティア活動支援

他団体支援

- ・農協(ミニデイサービスよらまい会他)
- ・一之宮区長寿会事務局
- ・一之宮まちづくり協議会福祉部会に所属
- ・身体障害者福祉協会一之宮分会

(5) 久々野支部

啓発事業

- ・支部だより「かけはし」の発行(年6回)
- ・お一人暮らし高齢者通信「ちょっとひとやすみ」の発行(年2回)
- ・サロンリーダー研修会の開催(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)
- ・認知症講座の開催

児童生徒支援事業

- ・夏休み中学生福祉体験学習(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)
- ・夏休み小学生サマーショートボランティア(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)
- ・小学4年生と地域の高齢者との交流(グラウンドゴルフ交流)
- ・小学4年生への福祉出前講座(年3回)

高齢者支援事業

- ・南エリア一人暮らし高齢者の集い(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)
- ・配食サービス事業「木曜ふれあい弁当」(27回実施、延べ516食)
- ・地域の高齢者と乳幼児親子交流花餅作り(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)
- ・地域見守り推進員連絡会(3回)
- ・コミュニケーション麻雀交流会(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)

子育て支援事業

- ・乳幼児学級「なかよしランド」(新型コロナウイルスのため7月より再開、延べ504名参加)
- ・エリア交流事業、親子交流体験教室の実施(新型コロナウイルス感染症予防のため中止)

他団体支援

- ・久々野ボランティア連絡会(会議、高齢者配食サービス(年1回、計120食))
- ・久々野区長寿会事務局(毎月発行の広報誌「いこい」発行・事業支援)
- ・各サロン活動継続支援
- ・久々野まちづくり運営委員会
- ・身体障害者福祉協会久々野分会
- ・ベルマーク活動(ささゆり会)支援

(6)朝日支部

啓発事業

- ・支部だよりの発行(年6回発行)

高齢者支援事業

- ・配食サービス事業(木曜ふれあい弁当)(26回実施、毎回40食)
- ・高齢者集いの広場(35回実施、12名参加)
- ・秋神交流サロン事業(1月~3月:毎週火曜日実施、毎回10名程度参加)
- ・地域見守り推進員連絡会

子育て支援事業

- ・乳幼児学級支援(開級式、ブルーベリー狩り、クリスマス会等)
- ・エリア交流事業(流しそうめん、ミニ運動会、焼き芋パーティー等)コロナにより中止

他団体支援

- ・健康サロンの継続支援(1か所)
- ・朝日地区敬老会、朝日区長寿会事務局
- ・朝日まちづくり協議会との連携
- ・朝日地域ケア会議参加

(7)高根支部

啓発事業

- ・高根支部だよりの発行(年6回発行)
- ・見守り通信「やまびこ」(年4回発行)

高齢者支援事業

- ・配食サービス事業(木曜ふれあい弁当)(25回実施、延べ243食)
- ・高齢者冬季限定集合住宅「のくとい館」運営(12~3月:7名入居)
- ・地域間交流・多世代間交流サロン事業(4~11月:毎月1回、12月~3月:毎週1回)
- ・自主活動サロンの支援

子育て支援

- ・「スイーツの会」「手芸の会」(毎月1回)
- ・「元気広場」

他団体支援

- ・高根区長寿会事務局
- ・高根まちづくり協議会(安心して安全に暮らせるまちづくり部会)
- ・地域ケア会議への参画
- ・身体障害者高根分会事務支援
- ・更生保護女性会高根分会支援

(8)国府支部

啓発事業

- ・国府支部だよりの発行(6回発行)
- ・命のバトン登録者、外出支援事業利用者等へ支部だより特別号として感染症対策や消費者トラブルの注意喚起、脳トレを掲載し郵送(延べ170名参加)

児童生徒支援事業

- ・国府小福祉学習出前(3件、延べ140名参加)
- ・国府中ボランティア出前(1件、ボランティアのみ14名参加)
- ・夏休み学童保育ボランティア体験(国府中14名参加)

高齢者支援事業

- ・認知症予防教室「おたのしみ会」の開催(毎月1~2回 延べ141名参加)
4、5月は緊急事態宣言のため中止
(4月に見守り配食、5月制作キットを送付 延べ20名参加)
- ・高齢者自主サロンへの出前講座(21グループ 約300名参加)

子育て支援事業 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

介護者支援事業 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

国府トレーニング室事業

- ・国府トレーニング室(年間利用者4,625名)

他団体支援

- ・国府区長寿会事務局
- ・まちづくり絆部会協力
- ・ボランティア団体「虹の会」研修会出前(1回 19名参加)

(9)上宝支部

啓発事業

- ・上宝支部だよりの発行(5回発行)

高齢者支援事業

- ・ふれあいいきいきサロン支援事業、配食サービス(36回 371名参加)
- ・見守り推進員研修等

子育て支援事業

- ・子育てグループ支援事業(運動会、クリスマス会、豆まき、音遊び等 10回 193名参加)
- ・奥飛騨温泉郷(ムミンハウス)上宝町(いちご学級)さるぼぼキッズ支援

他団体支援

- ・上宝区長寿会事務局
- ・たからまちづくり協議会福祉部会に所属(子育て、長寿会等地域を元気にする会に参加)

●公益を目的とする事業（定款第41条）

1. 総合福祉センター事業

(1) 総合福祉センターの管理

高山市から指定管理の委託を受け、総合福祉センターの管理を行ったほか、地域福祉活動及び高齢者の生涯学習の場として、各部屋の貸出業務を行った。

利用実績

令和2年度開館日数 293日（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	524	419	3,119	3,950	3,797	4,500	16,309
令和元年度	6,825	5,766	7,260	6,634	6,258	6,124	38,867
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	4,836	4,702	4,426	2,851	2,798	4,983	24,596
令和元年度	5,852	6,600	6,756	5,922	5,778	2,075	32,983

総利用人数

令和2年度	40,905
令和元年度	71,850

(2) 老人福祉センター

高齢者を中心に、余暇活動、文化活動を実施するために様々な講座事業を企画実施した。シニアヨガ、健康踊り教室などの事業をきっかけに、参加者が自主活動として独立して活動ができるよう配慮した。また、ふれあいのつどいでは引き込みの解消と仲間づくりに心がけ、多くの利用者の利便性を図った。新型コロナウイルス感染症のため、中止とした時期もあったが、通信を発行し、参加者とのつながりを切らさないよう心掛けた。

・ふれあいのつどい	9回開催	延べ	116名参加
・4階お風呂	30回開催	延べ	233名参加
・シニアヨガ	5回開催	延べ	75名参加
・健康踊り教室	2回開催	延べ	11名参加
・陶芸教室	4回開催	延べ	21名参加
・モルック交流	2回開催	延べ	11名参加
・コミュニケーション麻雀サロン	16回開催	延べ	250名参加

(3) 身体障がい者福祉センター

在宅障がい者の生活の質を上げるために、ニーズを聞き取り、ふれあいを深めるために職員が関わりを持ち幅広く実施した。サロン活動では、講師を招いてパソコン、書道、編み物などを実施し、参加者の交流と親睦を深めることができた。コロナ禍において、外に出る機会が少ない中、社会参加の場として、継続して行った。それぞれの事業終了後、参加者からのニーズを聞き取り事業に反映することに努めた。その他、障がいがあってもスキーが楽しめるよう、チェアスキー支援を行った。なお、上高地や平湯への野外散策は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

・身障サロン	10回開催	延べ	189名参加
・モルック交流	2回開催	延べ	32名参加
・陶芸教室	4回開催	延べ	28名参加

(4) 母子父子福祉センター

新型コロナによる活動制限はあったが、ひとり親家庭等の親子のふれあい交流やリフレッシュを目的に、タイダイ染めやクリスマスリース講座を実施した。クッキングは自宅でも簡単に作ることが

出来るレシピと材料の配布を行った。また、バスハイキングの行き先を近隣に変更し、飛騨高山レトロミュージアムや飛騨市神岡町レールマウンテンバイク Gattan GO!!!に出かけた。3年目となった「にじいろカフェ」では、日々の生活や育児等の思いや悩みを話せる関係づくりを心がけ、不安の軽減やストレス緩和を図れる場を提供し、母親同士や子ども同士の交流を深めることができた。

- ・親子交流事業 2回開催 延べ 29名参加
 - ・親子スキーの会 1回開催 8名参加
 - ・バスハイキング(地域散策) 2回開催 延べ 60名参加
 - ・親子クッキング 1回開催 16名参加
 - ・相談会 7回開催 延べ 79名参加 合計参加者 192名
- (相談件数:58件、内容:育児相談、子どもの生活環境、母親の就職、子どもの進学など)

2. ふれあい会館事業

(1) ふれあい児童館

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策による活動制限はあったものの、4月～5月の児童館5館の取り組みとして『休校中のおそびキット』を作成し配布した。また、来館や行事参加に定員を設ける等の配慮をしながら行事を実施した。

小学生ボランティアクラブ『にこにこ隊』は地域探検を行い、その中でゴミ拾いや「子ども110番の家」探しを行い、地域に興味・関心を持つことができた。

例年のように幼老複合施設としてデイサービスとの交流を行うことはできなかったが、デイサービス・ふれあい児童館共催で『秋の文化展』を開催し、作品展示や、各事業所(きららハウス・コスモス作業所・ウェルコミュニティー)の製品販売を行うことで地域交流に繋がった。

利用実績

令和2年度開館日数 248日 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	48	0	327	528	490	534	1,927
令和元年度	1,256	837	1,144	1,361	1,335	1,110	7,043
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	906	534	449	267	361	586	3,103
令和元年度	1,254	997	1,060	1,016	1,018	255	5,600

総利用人数

令和2年度	5,030
令和元年度	12,643

(2) ふれあい会館(老人いこいの家・地域利用)

高山市から指定管理を受け、老人いこいの家として部屋の貸出業務を行った。

利用実績

令和2年度開館日数 248日 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	11	0	76	73	115	99	374
令和元年度	269	178	277	315	266	255	1,560
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	99	117	99	57	64	119	555
令和元年度	175	154	300	182	274	90	1,175

総利用人数

令和2年度	929
令和元年度	2,735

3. 荘川福祉センター事業

高山市から指定管理を受託し、荘川福祉センターの管理と各部屋の貸出業務を行った。

利用実績

令和2年度開館日数 228日 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	50	54	182	191	117	160	754
令和元年度	350	230	203	139	132	107	1,161
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	201	192	142	112	131	107	885
令和元年度	323	166	196	159	184	116	1,144

総利用人数

令和2年度	1,639
令和元年度	2,305

4. 国府福祉センター事業

高山市から指定管理を受託し、国府福祉センターの管理を行ったほか、生涯学習及び介護予防の場として、各部屋の貸出業務や他団体の支援等を行った。

利用実績

令和2年度開館日数 228日 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	99	35	576	1,034	792	1,306	3,842
令和元年度	1,473	1,356	1,970	1,516	1,641	1,852	9,808
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	1,103	957	895	660	745	1,100	5,460
令和元年度	1,683	1,272	1,426	1,633	1,420	215	7,649

総利用人数

令和2年度	9,302
令和元年度	17,457

※新型コロナウイルス感染症対応

・トレーニング室:令和2年4月1日～6月18日 閉館

令和3年1月15日～3月6日 夜8時まで短縮

☞マスク着用、検温、消毒、短時間利用の依頼、職員による定期的な消毒対応を実施した。

・貸館:令和2年4月10日～5月30日 閉館

令和3年1月15日～3月6日 夜8時まで短縮(3月7日以降は夜9時まで)

5. 福祉サービス総合相談支援センター事業

市役所福祉課内及び各支所に専門職員を配置し、相談対応を開始して6年が経過した。

福祉サービス総合相談支援センター及び地域包括支援センターでは、相談者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続できるよう、様々な関係機関や地域と連携しながら、住居・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制づくりに向けて事業を推進した。

コロナ禍における相談内容は、複雑かつ多岐にわたり、複数の要因が絡み合うケースが多く、対応には非常に多くの時間と日数、及び多数の関係機関との連携、さらには専門知識を有する職員による継続した支援を必要とした。

各種相談件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
一般相談	45	22	43	46	39	37	232
生活困窮相談	283	293	430	388	389	423	2,206
障がい児者相談	106	130	159	146	134	120	795
高齢者相談	2,301	2,185	2,435	2,613	2,176	2,396	14,106
コロナ相談	129	89	71	59	29	35	412
計	2,864	2,719	3,138	3,252	2,767	3,011	17,751
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
一般相談	49	31	31	35	48	44	238
生活困窮相談	417	359	436	443	358	436	2,449
障がい児者相談	116	114	113	107	123	140	713
高齢者相談	2,606	2,316	2,362	2,297	2,370	2,460	14,411
コロナ相談	31	13	22	58	44	40	208
計	3,219	2,833	2,964	2,940	2,943	3,120	18,019

令和2年度合計

一般相談	470
生活困窮相談	4,655
障がい児者相談	1,508
高齢者相談	28,517
コロナ相談	620
計	35,770

令和元年度合計(参考)

一般相談	459
生活困窮相談	3,180
障がい児者相談	1,494
高齢者相談	28,370
計	33,503

予防プラン作成件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
直営	657	638	673	684	677	674	4,003
委託	495	490	518	525	515	497	3,040
計	1,152	1,128	1,191	1,209	1,192	1,171	7,043
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
直営	687	689	690	664	664	675	4,069
委託	509	523	534	523	531	546	3,166
計	1,196	1,212	1,224	1,187	1,195	1,221	7,235

令和2年度合計

直営	8,072
委託	6,206
計	14,278

令和元年度合計(参考)

直営	8,457
委託	5,910
計	14,367

6. 夜間保育

「ばじゃま」という愛称で3年目を迎えた。親の仕事の都合による保育はもちろんのこと、仕事以外でも傷病や冠婚葬祭、親族の介護等で利用できる枠もあり、徐々に認知度が高まってきた。

子どもたちが家でばじゃましている時のように、安心してくつろぐことができる雰囲気づくりに努め、一人ひとりのお子さんの発達段階を踏まえて、健全な育ちを支援した。

利用実績

令和2年度開館日数 292日 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和2年度	21	14	42	38	35	48	198
令和元年度	32	27	29	30	29	46	193
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
令和2年度	48	43	41	32	33	49	246
令和元年度	41	45	53	42	54	48	283

総利用人数

令和2年度	444
令和元年度	476

※注記

「事業報告の附属明細書」について

令和2年度事業報告書に、本会事業における重要な事項は記載されており、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、社会福祉法第45条の27第2項及び定款第37条第1項第2号に規定する「事業報告の附属明細書」は作成しない。